

瑞宝双光章を受章 佐藤幸雄さん



高齢者叙勲伝達式は7月24日、市役所で行われ、福地裕之教育長が瑞宝双光章を受章した佐藤幸雄さんに勲章と勲記を手渡しました。

佐藤さんは、中村第一中学校校長を勤め、教育環境の整備などに尽力しました。

佐藤さんは、「このような荣誉ある章をいただくことができましたのは、皆さまからのご指導のおかげです、ありがとうございます」と述べました。

EST交通環境大賞奨励賞受賞 グリーンメタン供給

公益財団法人交通エコロジイ・モビリティ財団の第15回EST交通環境大賞で、株式会社IHIと本市が実施している「国内初コミュニティバスへの再エネ由来のグリーンメタン供給」が7月18日、奨励賞を受賞しました。

ESTとは「環境的に持続可能な交通」のことで、同取り組みが、自動車燃料の脱化石燃料の新たな一助となる独創的な取り組みであることが評価されました。



地域を支える民生委員・児童委員委嘱状伝達式



民生委員・児童委員委嘱状伝達式は7月11日、市役所で行われ、新しく委嘱される國分裕子さんが訪れました。

同委員は、地域住民の立場に立つて相談に応じ手助けを行ったり、高齢者や子どもの見守り、子育ての相談などに応じるため厚生労働大臣、県知事から委嘱。

立谷市長は「お引き受けいただきありがとうございます。大変な仕事ですが、よろしくお願います」と述べ、國分さんに委嘱状を手渡しました。

百歳おめでとう

▽横山愛子さん

百歳を迎えた横山愛子さん(西山)への賀寿贈呈は8月1日、シルバークラブ相馬で行われ、横山さんに記念品などが手渡されました。

贈呈されたのは、県知事賀寿状と木杯、市長賀寿状と置き時計など。

当日は、同席した親族や友人、同所職員などが、横山さんの長寿を祝いました。

横山さんの長寿の秘訣は、麻雀やゲームで頭をよく使うことと、物事をくよくよ考えないことです。



▽佐藤稔枝さん



百歳を迎えた佐藤稔枝さん(小泉)への賀寿贈呈は8月4日、特別養護老人ホーム相馬ホームで行われ、佐藤さんに記念品などが手渡されました。

贈呈されたのは、県知事賀寿状と木杯、市長賀寿状と置き時計など。

当日は、同席した親族や友人、同所職員などが、佐藤さんの長寿を祝いました。

佐藤さんの長寿の秘訣は、物を大切にすることと、好き嫌いをせず食べることです。

寄付ありがとうございます

▽蔵王リース株式会社



蔵王リース株式会社の平間征太郎会長と平間宏樹代表取締役は7月22日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。

同社は、地域貢献の一環として、継続的に本市への支援を行っています。

寄付金を受け取った立谷市長は「いつもご支援いただきありがとうございます。被災高齢者の生活支援のために活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

▽オリエンタルモーター株式会社

オリエンタルモーター株式会社の木村明宏相馬カンパニー執行役員社長ら2人は7月24日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。当寄付金は、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）として、「音楽による生きる力をはぐくむ事業」を支援。立谷市長は、「ありがとうございます。いただいた寄付は、子どもたちのために有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



▽株式会社カフキーノ



株式会社カフキーノの志賀美紀代表取締役と同社所属歌手LOVEさんは7月25日、市役所を訪れ、福地教育長に寄付金を手渡しました。

当寄付金は、同社が作成し販売するマジックペンの売り上げ金の一部を市の教育復興子育て基金に寄付するもの。

福地教育長は、「ありがとうございます。子どもたちの教育のために活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

カフェの雰囲気でおしゃべり

ママカフェ

主任児童委員によるママカフェは7月11日、相馬愛育園で開催され、親子23組と主任児童委員17人が参加しました。当日は、ケーキや飲み物が振る舞われ、カフェの雰囲気を楽しみながら子育てに関する悩みなどを話し合いました。参加した保護者らは、子育ての悩みや楽しさなどを自由におしゃべりしたり、アイデアを聞いたりするなど楽しく交流していました。



夏を楽しむ「さくら子ども教室」

流しそうめん

放課後子ども教室「さくら子ども教室」流しそうめんは8月2日、中央公民館で開催され、児童および保護者ら約80人が参加しました。

当日は、うちわ作りをした後、同館敷地北側スペースで流しそうめんが行われました。

参加した児童らは、流れてくるそうめんやお菓子を夢中でつかみ、おいしそうに食べるなど、親子で楽しい時間を過ごしていました。



全国大会での活躍願う

ス。ポーツ大会出場報告

▽ソフトテニス

スポーツ大会出場報告は7月22日、市役所で行われ、菊地花音選手と松本倫佳選手が立谷市長に全国大会出場を報告しました。

選手らは、4月26日に開催された県大会で優秀な成績を収めたことから、7月31日より茨城県で開催された第42回全日本小学生ソフトテニス選手権大会に出場しました。

※全国大会の成績は、菊地選手が1回戦出場、松本選手が準優勝でした。



▽バレーボール



スポーツ大会出場報告は7月28日、市役所で行われ、若駒クラブ所属の児童ら16人が立谷市長に全国大会出場を報告しました。

選手らは6月に開催された県大会で優秀な成績を収めたことから、8月4日より東京都などで開催されたJVA第45回全日本バレーボール小学生大会全国大会に出場しました。
※全国大会の成績は、ベスト16でした。

東北大会での活躍願う

中学校体育大会出場報告

中学校体育大会東北大会出場報告会は7月31日、市役所で行われ、東北大会に出場する選手ら約30人が参加しました。

選手らは、7月に開催された県大会で優秀な成績を収めたことから、8月2日から、山形県などで開催された東北大会に出場しました。

大会への出場報告を受けた福地教育長は、「日ごろから部活動などに打ち込んだ成果だと思えます。また、協力や支援をいただいた保護者など周りの方々の期待に応えられるよう、頑張ってください」と選手らを激励しました。

選手らは、「目標としていた東北大会への出場を達成することができました。1勝でも多く勝てるよう頑張ります」、「東北大会ではベストを尽くせるよう頑張ります」など、それぞれ大会への決意を述べていました。

た。

●東北大会へ出場した選手・団体は次のとおり

▽向陽中学校サッカー部

▽向陽中学校 渡部大和選手（柔道男子55キログラム級）

▽向陽中学校 門馬大哉選手（柔道男子60キログラム級）

▽磯部クラブ（男子バレーボール）

※磯部クラブの東北大会の成績は、ベスト8でした。



相馬の海盛り 上げるビーチ フェスタ



2025ビーチフェスタ in 相馬は8月3日、原釜尾浜海水浴場で開催され、市内外の中学生ら約250人が参加しました。

同イベントは、スポーツによる相馬の復興を目的に、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が主催。

中学生男子の部・女子の部、マスターズの部の試合が行われ、選手らは、互いに声を掛け合いながら熱戦を繰り広げました。

全国大会への出場を報告

芸術文化奨励金交付式

▽放送コンテスト

市芸術文化奨励金交付式は7月15日、市役所で行われ、相馬高校放送局の生徒らが福地教育長に全国大会出場を報告しました。

同校放送局は、7月21日から国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）で開催された第72回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会に福島県代表として出場しました。

※全国大会の成績は、準々決勝進出でした。



▽ワイプロ競技



市芸術文化奨励金交付式は7月16日、市役所で行われ、相馬総合高校商業研究部の馬場蒼空さんが福地教育長に全国大会出場を報告しました。

馬場さんは、6月21日に開催された第71回福島県高等学校ワイプロ競技大会個人部門において、優秀な成績を収め、7月29日に東京都で開催された第72回全国高等学校ワイプロ競技大会に福島県代表として出場しました。

平和を願って国際交流リトルオリ

ブこども基金訪問

リトルオリブこども基金の訪問は7月26日、東部子ども公民館で行われ、たくさんのお児童らが訪れました。

同基金は、被災地の子どもたちを支援する団体で、東日本震災後から毎年市を訪れており、今回は被災地支援のほか、戦争でウクライナから避難している高校生らとの交流を目的に開催。

参加した子どもたちは、ウクライナに早く平和が訪れるようお願いしながら、ひと時の交流を楽しんでいました。



自分の言葉で力強く

「少年の主張」相馬大会

「少年の主張」相馬大会は7月8日、市民会館で開かれ、市内4中学校の代表生徒10人が自らの意見を発表しました。市青少年健全育成市民会議が主催し、多くの大人に中学生への理解や関心を深めてもらうことを目的に開催。

個性や友人関係など学校生活に根ざしたテーマから、相馬市の未来や障害などの社会的なテーマまで、発表者は力強く自分自身の言葉で意見を述べていました。



自慢の歌声を披露 相馬盆唄大会

(相馬市)

相馬盆唄大会は7月20日、市民会館で開かれ、子ども部11人、一般の部17人が出場しました。

出場者は自慢の歌声を披露し、会場を盛り上げました。

●結果は次のとおり(敬称略)
▽子どもの部 1位…原湊(相馬市)、2位…吉田美都(榊葉町)、3位…村松紗代子(相馬市)

▽一般の部 1位…石井雅子(いわき市)、2位…林真記子(新地町)、3位…小谷美喜子(相馬市)



海開きに備えてクリーンアップ作戦

環境美化作業「クリーンアップ作戦」は7月12日、原釜尾浜海水浴場で行われました。当日は、オリエンタルモーター株式会社、相双五城信用組合、TACO精機株式会社、石油資源開発株式会社、相馬エネルギーサポート株式会社、株式会社タケエイの有志や市職員など約300人が参加。参加者らは、1時間ほどの清掃活動を行い、空き缶、ペットボトルなどのごみを拾い集めました。



シーズン中の無事故目指す

海水浴場安全祈願祭



原釜尾浜海水浴場安全祈願祭は7月19日、同所で行われ、関係者ら約20人が参加し海開き期間の安全を祈願しました。当日は海水浴シーズン中の安全を祈願する神事が実施され、立谷市長や草野清貴市観光協会会長などが散酒の儀や玉串奉奠などを行いました。立谷市長は「安全に注意を払って海水浴を楽しんでいただき、皆さんに相馬の夏の思い出を作ってもらいたい」とあいさつしました。

ひまわりで遊

休農地対策市農業委員会

市農業委員会は7月12日、日下石字北田地区の遊休農地約13アールに15、000粒のヒマワリの種まきを行いました。同活動は遊休農地対策のPR活動を目的に平成18年から行っており、近年はヒマワリを栽培。

当日、農業委員と農地利用最適化推進委員らは、水系で直線を確認しながら、丁寧に種まきを行いました。ヒマワリは9月上旬ごろから開花を迎える予定です。



干潟の生き物を観察

松川浦自然教室

第11回目松川浦自然教室干



潟観察会は7月26日、松川浦で開催され、親子11組27人が参加しました。同教室は、自然環境保全の大切さを知ってもらうことなどを目的に開催。

観察会は鶴ノ尾岬夕陽の広場周辺の干潟で行われ、参加者らは、講師の鈴木孝男みちのくベントス研究所所長らの説明を受けて干潟を掘り返し、アナジャコやテップウエビなどを観察するなど、楽しい時間を過ごしていました。

地域の魅力を発信

SOMAシーフェス2025

SOMAシーフェス2025は7月26日、尾浜こども公園で行われ、市内外から多くの親子らが訪れました。地域の魅力発信を目的に、やっぺすつべ想造委員会が主催。

イベントは、中村第二小学校原釜太鼓クラブの児童らの演奏で幕を開けました。訪れた親子らは、「わくわく水族館」や、小型シヨベルの操作体験など、イベントを大いに楽しんでいました。

